

ことば村ニュース



2013年. 9月

まだまだ残暑が厳しいとはいえ、風に秋の気配が感じられるようになりました。創立十周年の今年、活動も毎月大変充実しています。たくさんの方が参加して、「ことば」の花 咲き乱れる地球へを実感していただきたい！と願っています。

★「ことばのサロン」

9月：「琉球八重山諸島のカイダー字について」

話題提供：マーク・ローザ先生（東京大学博士課程満期終了）

日時：9月14日（土） 会場：慶應義塾大学三田キャンパス大学院校舎5階354

10月：「インドネシア・ラマホロット語について」

話題提供：長屋尚典先生（東京外国語大学）

日時：10月26日 会場：慶應義塾大学三田キャンパス（予定）

12月：「ラパヌイ語・ルルツ語について（予定）」

話題提供：西本希呼先生（京都大学）

日時：12月7日 会場：慶應義塾大学三田キャンパス（予定）

★11月16日十周年記念「ことわざフォーラム」開催

ことわざを研究する団体「ことわざ学会」との共催で、「ことわざフォーラム」を開催いたします。仮タイトルは「ことわざが拓く世界」。ワークショップではアフリカ・アジアのことわざが拓く世界、また、パネルディスカッションではことわざが現代社会の問題解決として拓く世界、伝統と未来をむすぶ世界が楽しめるでしょう。さらに、一龍齋貞花師匠の講談や創作ことわざコンテストなど、盛りだくさん。どうぞご予定ください！

★在日ブラジル人子弟のための副教材プロジェクト進行中

今年、全日本社会貢献団体機構の助成金をいただき、東京女子大の在日ブラジル人児童支援グループ「ぱずる」とともに開始された日本語・ポルトガル語対訳の童話絵本の制作。「おむすびころりん」「蜘蛛の糸」「注文の多い料理店」など、翻訳や挿絵がつぎつぎとあがってきています。年末に完成した暁には、全国の在日ブラジル人母語保持教室に無償配布し、数か所には「ぱずる」メンバーが訪れて朗読活動もする予定です。

★12月「朗読の会」、1月「方言のチカラ（仮題）」講座を実施します。

恒例の「朗読の会」は春日に会場を移し、ご希望の多かった「三つのクリスマスストーリーズ」を、今回は美しいソプラノ独唱付で再演します。

日時：12月13日（金）18：00～19：30 会場：文化シャッターB×ホール

1月には目黒ボランティアセンター共催で、中目黒青少年プラザで方言の復権をテーマに講座を。

日時：1月11日（土）13：30～15：30 会場：中目黒青少年プラザ

講師：篠崎晃一先生（東京女子大学教授・話題の出身地鑑定方言チャートのゼミ主宰の先生！）

詳しくは近々ホームページに掲載します。チェック！ ぜひご参加ください！

★ホームページ「世界の文字」ぜひご覧ください！

会員の稲垣徹さん寄稿の「世界の文字」が毎月拡充中。ぜひお楽しみください。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

活動は順次サイトで報告いたします。

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届けしています。

申込は一

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>